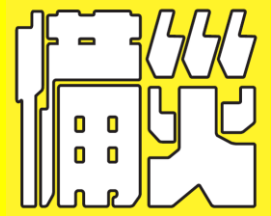


地域発★防災教育アクション

備災出前講座



in 岡山県立備前緑陽高等学校

—探してみよう「自分たちでできる明日からの防災」—

西日本豪雨災害からまもなく5年です。岡山県立備前緑陽高等学校の生徒の皆様が、災害から自らの命を守るために必要な知識や心構えを講座で学ぶとともに、ワークショップ(グループディスカッション)を通して防災について高校生目線で自分たちでできることを考え探っていきます。

また、西日本豪雨災害の様子をVR(バーチャル・リアリティ)技術を活用した仮想空間で体験し、当時の記憶を忘れずこれからの防災に繋げていきます。

日時：令和5年6月28日(水) 13:05～15:00(予定)

場所：岡山県立備前緑陽高等学校(備前市西片上)

対象：2年生 118名

第1部「災害について学んで備えよう」13:20～13:50



災害には土砂災害、高潮、洪水など様々な種類があります。それぞれの災害の知識や、発生のメカニズムなどについて学んでいただきます。

また、災害から自分を守るためには、ハザードマップを利用して災害が起こりそうな場所を日頃から知っておくことが大切です。今回の講座では、備前緑陽高等学校周辺のハザードマップを調べて、近くでどのような災害が発生する可能性があるのかも学びます。



第2部「備災ワークショップ」13:50～15:00

探してみよう「自分でできる明日からの防災」



「災害について高校生として取り組みたいこと」をテーマにグループディスカッションして考えます。「ハザードマップを見ながら、どのような行動を取るべきなのか」、「防災に関して自ら行動したいこと」、「地域の方々に伝えたいこと」などを考えていきます。グループでまとめて時間の最後に、高校生からの提言として発表します。



【特別企画】VRで体験 13:05～13:20 13:50～15:00

「西日本豪雨災害から5年 変わる風景を360度で」

西日本豪雨からもうすぐ5年。年月が経過しても大切なのは当時の災害を忘れずこれからの防災に繋げることです。

被災した当時の様子、そして現在の姿を生徒の皆様にもVR(バーチャル・リアリティ)技術を活用した仮想空間で体験していただきます。

